

我が社の
障害者雇用

住友精密工業株式会社

光かがやくその未来（ゆくて）

私たちは、独創的な未来技術で発展し続け、豊かな明日を拓きます。

住友精密工業株式会社

会社概要

- 代表者 ● 代表取締役社長 三木 伸一
- 本社所在地 ● 尼崎市
- 事業内容 ● 航空・宇宙、熱制御、油圧制御、環境システム、MET (Micro Electronics Technology)、MEMS製造装置、各種モーションセンサ、燃料電池
- 従業員数 ● 1184名 うち障害者18名
(聴覚障害者14名、身体障害者2名、
精神障害者2名)
- ホームページ ● <http://www.spp.co.jp/>



障害者雇用について人事担当者にインタビュー

障害者雇用推進のきっかけ・経緯は？

本格的に障害者の雇用を始めたきっかけは、1995年の阪神・淡路大震災になります。

震災直後の採用時期に、当時の担当者宛に「震災の影響で仕事に就けない方がいるのだが、面接してもらえないだろうか」という、特別支援学校の先生から相談がありました。その方は聴覚に障害を持っておられましたが、面談をしてみると人柄もよく真面目で「この人であればしっかりと働いてくれるだろう」と思い、当社で採用を決めました。



インタビューに答える人事担当者

採用はどのように？

最初にきっかけを作ってもらった特別支援学校の先生とは、現在も20年近くお付き合いが続いており、たくさんの方を紹介していただいています。また定期的に当社へお越しいただき入社後の社員にも声を掛けてもらうなど、きめ細かな対応をしてもらっています。

お陰様で弊社も少しずつではありますが、障害者の採用実績を増やしていくことができました。今ではこれまでお付き合いがなかった特別支援学校の生徒も採用したり、国際的な障害者団体から職場見学の要望をいただいたりしています。

採用された方はどのような職種に就かれていますか？

聴覚障害者の多くが特別支援学校の機械科に所属しているため、基本的な技術は習得されています。後は一人ひとりの適性に合わせて様々な業務を任せています。

具体的には航空機部品の削り出しや研磨、熱制御の部門では溶接、さらには各種機器の製造や組立など、健常者と同じように活躍してもらっています。

障害者雇用で感じたこと、今後の課題は？

各現場で様々な機械を扱うので、一番重要なのは安全面への配慮です。聴覚に障害を持った方は機械の異常音や緊急時にかかる非常放送への対応が遅れがちです。もしもの時は周りにいる社員が合図をして避難や対処がちゃんとできるようにしています。また日頃から各現場の管理・監督者が定期的に巡回するなど、障害者が現場で孤立してしまわないように注意しています。障害者がいるからということではありませんが、やはり同じ職場で働く者同士の、助け合いの意識を持つことが大事だと感じました。



仕事の様子

雇用管理・サポート体制などで工夫されている事は？

最初はマニュアルもなく全てが手探りでした。弊社では聴覚に障害を持った方が多いので、特にコミュニケーションの方法には注意を払っています。主な手段は筆談ですが、その他社員に簡単な手話の資料を配布し、意思疎通がしやすいようにしています。また、話者の口元を見て内容が理解できる方もいるので、その場合は口元が見やすいように正面に立ってハッキリと話すようにしています。

その他、社内には私を含め3名ほど障害者職業生活相談員の資格を持った者がいます。ただ、特別な配慮をするよりも職場で障害者を含めた全員が活躍できるよう、可能な限り分け隔てなく接するようにしています。

健常者と同じように、本人の能力や努力次第でより高度な技術を習得し、スキルアップできるような環境を作ることが大切です。弊社で長年職務に従事し、つい最近社内で「社長賞」として表彰された方もいます。この賞は、会社が普段の仕事ぶりを健常者と同じように評価した中で、本人が獲得したものです。その方には現在、同じ障害を持つ後輩に指導、教育する役割も果たしてもらっています。

最後に、これから障害者雇用に取り組もうとしている企業へのメッセージをお願いします。

障害を持っているからといって壁を作るのではなく、健常者も障害者と同じように仕事に取り組める職場づくりが大事です。業務内容によっては難しい部分もあるのは事実ですが、まずはできるところから始めて、少しずつできることを増やしていけるように、会社全体で取り組んでいただければと思います。

勤務されている方へのインタビュー

いつからこの会社に勤めていますか？

1996年に進路指導の先生から紹介してもらいました。

どのような仕事に従事されていますか？

放電加工機で、コルゲート加工された部品の切断作業を20年間担当しています。要望に合わせて様々な形状に切断・加工していきます。



インタビュー中の大原さん

この会社に勤めて良かったと思う事は？

コミュニケーションは苦手ですが、自分の希望していた機械生産・製造に係る仕事ができることです。

現在は同じ聴覚に障害を持つ後輩の指導もされていますね？
教える時に注意していることはなんですか？

自分の経験や技術を伝え、キチンとメモを取るようにはさせています。

今後の自分への課題・目標などあれば教えてください。

作業効率のさらなる改善です。放電作業の加工時間、段取り時間の短縮を図っています。そして、ちょっと先の話ですが、大きな病気もなく無事定年を迎えたいです。